



触ると何かとうなぎのぼり！？

手賀沼のうなぎちさんの石像が完成！

市では市制施行50周年を記念して我孫子市マスコットキャラクター「手賀沼のうなぎちさん」の石像を制作しました。

市制施行50周年の記念制作にあたっては、子どもから大人まで親しめること、市制施行100周年まで残る物を作りたいという思いから石像を制作することになりました。

手賀沼のうなぎちさんは触ると何かとうなぎのぼりになると言われていることから、手のひらや足の裏を触れるように座った姿をモチーフにしています。また、様々なイベントなどでも活用できるように、自治体のゆるキャラとしては全国的にも珍しい移動可能なサイズの石像にしました。

本来は市制施行50周年記念日である令和2年7月1日までの完成を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による式典延期に合わせて製作時期を変更しました。

3月18日に完成し、今後は水の館など市内公共施設などで一般公開を予定しています。

【石像寸法】

幅40cm×奥行40cm×高さ53cm（帽子含む）、重さ約60kg

【素材】

石種654（御影石）

【製作費】

税込み63万8000円



【問い合わせ】

我孫子市総務部秘書広報課
担当 小池・山田

☎04-7185-2493